

令和4年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
中	1	旧根岸競馬場一等馬見所の保存・活用等の方向性検討	旧根岸競馬場一等馬見所の保存・活用等の方向性検討	政策局	○
中	2	矢羽根型サインや絵タイルなどの観光案内施設の維持管理に関するガイドライン策定	ガイドラインの策定及び予算措置	道路局	○
				都市整備局	○
中	3	日本大通り(本町通り～海岸通り間)への電源設備整備	1 電源設備の整備 2 設置に係る占用調整 3 電源設備整備後の維持管理 4 道路占用許可事務、設置に係る地元調整	文化観光局	○
				都市整備局	○
中	4	関内駅周辺の回遊性向上と賑わい創出に向けた検討	関内駅周辺の安全な歩行者空間の整備、賑わい創出及び回遊性向上に向けた道路整備	都市整備局	○
				道路局	○
中	5	中村川、堀川及び大岡川の回遊性の向上を目指した(仮)石川町棧橋整備	1 (仮)石川町棧橋の整備に向けた関係機関との調整 2 中村川、堀川及び大岡川の棧橋の管理体制の検討	都市整備局	○
中	6	大岡川右岸の環境改善と魅力向上	大岡川右岸の環境改善及び魅力向上のためのプロムナード再整備	道路局	○
中	7	初黄・日ノ出町地区地域再生まちづくり事業(店舗等借上事業)	土地利用転換を促進するための建物賃借の継続	都市整備局	○
中	8	初黄・日ノ出町地区の再生を目指した活動創出事業	新たなまちづくり活動の創出に向けた地域支援	都市整備局	○
中	9	初黄・日ノ出町地区における文化芸術を活用したまちづくり	1 京急高架下や小規模店舗跡を活用した文化芸術活動拠点の整備 2 地元NPOと協働しての拠点運営や更なる活用方策の検討	文化観光局	○
中	10	初黄・日ノ出町地区の防犯対策	防犯活動支援(地元協議会安全・安心まちづくり活動支援、地域防犯拠点等の防犯機能の向上、防犯啓発事業)の強化	市民局	○
中	11	なか国際交流ラウンジ 外国人転入者向け生活ガイダンス事業	なか国際交流ラウンジの機能強化に係る委託費(生活ガイダンスのコンテンツ作成や情報分析等を行うための費用)	国際局	○
中	12	中土木事務所拡張事業	中土木事務所拡張に関する工事	市民局	—
中	13	こども家庭総合支援拠点設置に伴う区こども家庭支援課での多言語対応強化	委託(派遣職員)による窓口での外国語対応実施	こども青少年局	—

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	政策局
------	-----

中区		区政推進課	
担当者名	飯田、大串	TEL	224-8128
共通区			

継続年数	2年
------	----

提案種別	予算関連
------	------

番号	項目
1	旧根岸競馬場一等馬見所の保存・活用等の方向性検討

◇地域の課題、基礎データ等

根岸森林公園内の旧根岸競馬場一等馬見所は、「建物の歴史性を活かしながら市民が利用しやすい施設」とする目的として、昭和62年に市が取得しましたが、利用計画が決まらないまま外から鑑賞させる公園の教養施設として平成14年に都市公園法の公開手続をとりました。旧根岸競馬場一等馬見所の利用計画については、米軍根岸住宅地区の接収解除に向けた取組に合わせて検討を進めることになってはいますが、抜本的な補修が行われていないため老朽化が激しく、建物の耐震性も確保されていません。

一方米軍根岸住宅地区は、平成16年に返還の方針、令和元年度に現状回復作業を速やかに実施するための共同使用について日米で合意され、令和3年3月に「根岸住宅地区跡地利用基本計画」が策定されました。今後は早期事業化に向けた検討が進められる予定であり、根岸森林公園に隣接する部分は、旧根岸競馬場一等馬見所などのゾーンと一体的に利用できるように根岸森林公園を拡張することが計画されています。

「根岸住宅地区跡地利用基本計画」を軸としたまちづくりが進められる中、隣接地にある旧根岸競馬場一等馬見所についても、その歴史的価値から保存・活用に向けた整備等を求める声が上がっていますが、今後の方向性について具体的な検討が進んでいない状況です。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
 8 その他 ()

◇区民からの具体的な要望

旧根岸競馬場一等馬見所について、歴史的建造物としての価値を評価し、修復・保存・活用してほしいとの要望があります。具体的には、景観を活かした市民の憩いの場とすることや観光資源として活用することに対する要望、また、建物を保存活用することで公園の価値を高めることにもつながる、などの意見があります。

また、現在の建物状況（窓ガラスの破損による雨風の侵入等）の早期改善について要望があります。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「4 地域の活力があふれるまちづくり」
 横浜市都市計画マスタープラン中区プランの「3-2エリア別方針（4）本牧・根岸エリアのまちづくり《方針2》魅力的な歴史・文化資源の保全・活用」において、一等馬見所の魅力発信について記載しています。

◇提案内容・概算額等

保存・活用等の方向性を検討するための関係課長会（政策局、環境創造局、中区、都市整備局、教育委員会事務局）の中で歴史的建造物の保存手法の比較、建物の劣化状況や安全性の確認等を行い、保存・活用に関する具体的検討を進める必要があります。

- ・旧根岸競馬場一等馬見所の保存・活用方法等の方向性検討

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	政策局政策課
------	--------

◆局回答内容

政策局		政策課	
担当者名	池上、花本	TEL	671-3125

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 保存・活用等の方向性については、引き続き、関係区局（政策局、環境創造局、中区、都市整備局、教育委員会事務局）と連携しながら、検討していきます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

都市整備局		都市デザイン室	
担当者名	渡辺	TEL	671-2023

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	都心プロムナード事業は、歩行者が安全でゆっくり楽しく歩ける環境を整備すること等の目的で昭和49年に道路事業の一環として開始されました。一方で、絵タイルが滑りやすく、維持管理に苦慮している状況が続いています。このため、絵タイルの現況を把握し、条件整理を行った上で、時代と共に変化した街に応じた都心プロムナード事業について、方針決裁に向けた調整を行います。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局・道路局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、大串	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数	5年		

提案種別	
予算関連	
番号	項目
4	関内駅周辺の回遊性向上と賑わい創出に向けた検討
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>関内駅周辺地区は開港以来の横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心ですが、近年、地区の地盤沈下が進んでおり、市役所移転による空洞化も懸念されています。地区の活性化を継続的に図るため、平成22年3月に「関内・関外地区活性化推進計画」を、また令和2年3月に「関内・関外地区活性化ビジョン」を策定し、まちづくりを進めています。また、教育文化センター跡地における大学キャンパスの整備や横浜文化体育館の再整備が進み、令和元年度には旧市庁舎街区の事業予定者が決定されました。将来的には周辺と連携した拠点の形成や賑わいが期待されます。</p> <p>こうした賑わいづくりを進めるため、関内駅周辺を中心とした各種施設等へ安全に移動するための歩行者空間の整備が求められます。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
◇区民からの具体的な要望	
<p>横浜スタジアム、横浜文化体育館など、多くの来街者が集まる施設や地区と、関内駅周辺との安全な歩行者空間の整備による回遊性強化について要望があります。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>中区運営方針「4 地域の活力があふれるまちづくり」 横浜市都市計画マスタープラン中区プランの「3-2 エリア別方針(1)関内・関外エリアのまちづくり《方針1》 都心臨海部における都心機能の強化や拠点整備・魅力的な街並みの形成」に、関内・関外の接続強化と関内駅周辺の回遊性の向上について記載しています。</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>市庁舎跡地、教育文化センター跡地の土地活用を契機とし、横浜スタジアムや横浜文化体育館など、多くの来街者が集まる周辺施設と連携を図る等、安全な歩行者空間の整備によって関内駅を中心とした周辺へのネットワークを強化し、集客と回遊性を向上させ、関内・関外地区の賑わい創出につながる事業の推進を提案します。</p> <p>・関内駅周辺の安全な歩行者空間の整備、賑わい創出及び回遊性向上に向けた道路整備 都市整備局：■■■■ 千円 道路局：■■■■ 千円</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	都市整備局都心再生課、都市デザイン室、道路局企画課

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	大平、大下内	TEL	671-2779

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 関内駅周辺の安全な歩行者空間の整備、賑わい創出及び回遊性向上に向けた道路整備を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

都市整備局		都心再生課・都市デザイン室	
担当者名	茨木、國行（都心再生課） 山田（都市デザイン室）	TEL	671-3963（都心再生課） 671-2023（都市デザイン室）

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 関内駅周辺の安全な歩行者空間の整備、賑わい創出及び回遊性向上に向けた道路整備を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、大串	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数	6年		

提案種別
予算関連

番号	項目
5	中村川、堀川及び大岡川の回遊性の向上を目指した(仮)石川町棧橋整備

◇地域の課題、基礎データ等

元町、中華街及び石川町商店街エリアには、中村川及び堀川が流れており、将来的に地域資源として常時活用されることが期待されます。また、中村川・堀川と繋がる大岡川と併せて活用することで、水上交通等による都心臨海部の回遊性の向上が期待されます。

平成29年度に地域が開催したワークショップでは、石川町エリアへの棧橋を優先的に整備するものとする合意がまとまりました。平成30年度からは、関内・関外地区活性化協議会の外部団体として、「中村川・堀川棧橋整備検討チーム」が立ち上がり、地域と連携して棧橋整備に向けて取り組んでいます。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
 8 その他 ()

◇区民からの具体的な要望

都心臨海部の回遊性を高めるための、中村川、堀川及び大岡川の棧橋の整備及び水上交通の推進

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「4 地域の活力があふれるまちづくり」
 横浜市都市計画マスタープラン中区プランの「2-5都市交通に関する方針《方針3》」中区の資源を生かした多彩な交通の充実」に都心臨海部の回遊性を高める水上交通や、水上交通レクリエーションの拠点となる棧橋等の整備について記載しています。

◇提案内容・概算額等

中村川、堀川及び大岡川における水上交通の推進のためには、新たな棧橋整備や棧橋整備後の管理体制の検討について関係部署や運航事業者等との調整をしながら進めていく必要があります。そのため、石川町エリアの棧橋について、令和3年度に実施する道路設計に基づき、神奈川県治水事務所と連携し、棧橋整備完了に向けた調整を進めていく必要があります。また、水上交通を実現するためには、区民・事業者等が棧橋を利用しやすくするための管理体制について既存の棧橋の管理状況と併せて検討を進める必要があります。

1 (仮)石川町棧橋の整備に向けた関係機関との調整
 2 中村川、堀川及び大岡川の棧橋の管理体制の検討(●千円)

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	都市整備局都心再生課
------	------------

◆局回答内容

都市整備局		都心再生課	
担当者名	小谷	TEL	671-4247

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 神奈川県が行う(仮称)石川町棧橋整備工事に合わせた、周辺道路部分の準備工事を行います。大岡川水系の棧橋管理体制検討についても、神奈川県と調整を進めます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局
------	-------

中区		区政推進課	
担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	

番号	項目
----	----

7	初黄・日ノ出町地区地域再生まちづくり事業(店舗等借上事業)
---	-------------------------------

◇地域の課題、基礎データ等

初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（バイバイ作戦）や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。
しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き、店舗の借上等、まちの再生に向けた取組を推進していくことが不可欠となっています。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。
また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」
初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。

◇提案内容・概算額等

健全なまちの再生に向けて、地区内に100軒近く残存する小規模店舗跡を文化芸術の活動拠点として整備するなど、土地利用の転換を促進するため、建物の賃借を継続して行うことを要望します。
また、建物の賃借と並行して、健全なまちを維持し、現状の賃借の形態に代わる持続可能な取組の検討を行う必要があります。

土地・店舗借上費 ■■■■■千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	都市整備局都心再生課
------	------------

◆局回答内容

都市整備局		都心再生課	
担当者名	小谷	TEL	671-4247

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 アートを活用した安心・安全のまちづくりを推進するため、初黄・日ノ出町の地域再生に向けて、旧違法小規模店舗の借上げなどの神奈川県警察等との連携した取組を継続します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数	7年以上		

提案種別	
予算関連	

番号	項目
8	初黄・日ノ出町地区の再生を目指した活動創出事業

◇地域の課題、基礎データ等

初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（バイバイ作戦）や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。

しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き、店舗の借上等、まちの再生に向けた取組を推進していくことが不可欠となっています。

神奈川県警による一斉取締り「バイバイ作戦」から10年が経過し、まちの自立のため、「普通の町」になることや、商いの成り立つ「にぎわいのある町」を目指すことが、地元協議会によって宣言されました。住民主体の取組を継続し、アートに限らず様々な種類のにぎわいや活動の創出は、当地区の安全・安心のまちづくりを進めるためにも、特に重要なことです。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。

また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」

初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。

◇提案内容・概算額等

地域における様々な主体と連携しつつ、防犯活動に留まらない、当地区の新たなまちづくり活動の創出に向けた支援を行う必要があります。

さらに、まちの再生に向けて地域と共通認識を持ちながら、将来のまちの姿を見据えた活動を地域と役割を分担して進める必要があります。

委託費 ■■■■■ 千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	都市整備局都心再生課
------	------------

◆局回答内容

都市整備局		都心再生課	
担当者名	小谷	TEL	671-4247

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 初黄・日ノ出町地区のまちづくり方策の検討や、地元権利者の状況等を調べるための調査等を行います。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	文化観光局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数	7年以上		

提案種別
予算関連

番号	項目
----	----

9	初黄・日ノ出町地区における文化芸術を活用したまちづくり
---	-----------------------------

◇地域の課題、基礎データ等

初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（バイバイ作戦）や、地元協議会与行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。

しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き、文化芸術によるまちづくりを継続し、地域とアートの共存を軸にした施設運営などを実施する必要があります。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。

また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」

初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。

◇提案内容・概算額等

引き続き、文化・芸術によるまちづくりを進めるため、京急高架下や小規模店舗跡を活用した文化芸術活動拠点の整備を進めるとともに、地元NPOと協働しての拠点運営や更なる活用方策の検討を行うことを要望します。

施設運営費 ■■■■■ 千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	文化観光局創造都市推進課
------	--------------

◆局回答内容

文化観光局		創造都市推進課	
担当者名	赤崎	TEL	671-3868

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	高架下スタジオ等の管理運営費及び施設改修費等を局が負担する方向で調整中です。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数	7年以上		

提案種別
予算関連

番号	項目
----	----

10	初黄・日ノ出町地区の防犯対策
----	----------------

◇地域の課題、基礎データ等

初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（バイバイ作戦）や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。

しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き地域住民が行う安全・安心のまちづくりを進める必要があります。地元協議会では防犯パトロール等の防犯活動や、地域防犯・交流の場として地域防犯拠点の運営を行っており、防犯効果やまちの活性化の高まりにつながっています。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。

また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」
初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。

◇提案内容・概算額等

初黄・日ノ出町地区の安全・安心なまちづくりを進めるためには、協議会による防犯活動や啓発、地域防犯拠点の運営を継続して実施することが必要です。

その協議会活動への支援や地域防犯拠点の管理運営に係る事業費を要望します。

防犯活動支援費（地元協議会安全・安心まちづくり活動支援、地域防犯拠点等の防犯機能の向上、防犯啓発事業の費用） 〇千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	市民局地域防犯支援課
------	------------

◆局回答内容

市民局		地域防犯支援課	
担当者名	平社高野	TEL	671-3705

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 初黄日ノ出町地区については、違法な風俗営業を行う飲食店舗は一掃されましたが、店舗の形態はそのまま残っており、対策を怠るとまた以前の状態に戻る危険性があると認識しています。このため、地元協議会が取り組む、初黄・日ノ出町地区の防犯活動への支援にかかる経費を予算計上します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	国際局	中区		地域振興課	
		担当者名	山田、小池	TEL	224-8134
		共通区			

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算・制度関連	
番号	項目
11	なか国際交流ラウンジ 外国人転入者向け生活ガイダンス事業
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>新たに中区民になられた外国人市民に情報提供をする機会が少なく、国際交流ラウンジの存在もあまり知られていません。現状では、戸籍課に来られた外国人市民へはウェルカムキットにある国際交流ラウンジのパフレットでしか国際交流ラウンジを知ることができないため、もっと適切にご利用いただくための周知が必要です。</p> <p>中区令和2年度 外国人転入者数 2,555件 国際交流ラウンジ相談件数 685件 (転入者の26.8%)</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> 行政・生活情報の主な入手先として、友人・知人、近隣住民、同郷ネットワーク等が挙げられています(出典：令和2年度中区外国人意識調査)が、正確な情報が得られず困り国際交流ラウンジに相談に来られるケースが散見されます。 外国人が増加した場合の意見として、中区内居住の日本人の約7割が生活のマナーやルールが守られなくなると感じています。(出典：令和元年度中区区民意識調査) 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<ul style="list-style-type: none"> 区政運営方針の施策3「多文化共生のまちづくり」として、なか国際交流ラウンジの活動が位置づけられています。なか国際交流ラウンジでは、外国人市民への支援や多文化交流・理解の取組を進めるとともに、ボランティアの活躍の場の発掘や活躍の場の創出を行っています。 第2期「中区多文化共生推進アクションプラン」(2021年～2024年の4年計画)では、基本施策3として、なか国際交流ラウンジの活動が位置づけられています。 【基本施策3】外国人住民の暮らしを支える体制づくり NO.7 外国人向け総合相談窓口の充実 「なか国際交流ラウンジ(窓口等)での情報提供・相談」 「タブレット等を活用した生活ガイダンスの実施」 外国人市民に対する行政情報の提供方法として、転入手続きをされた際にウェルカムキットをお渡しするほか、国際交流ラウンジや区の多言語によるホームページで発信しています。 	
◇提案内容・概算額等	
<p>外国人新規転入者に対し、転入手続きの一環として国際交流ラウンジへの来館を組み入れ、中区の暮らしに役立つ情報を提供するため、タブレット等を活用した生活ガイダンス※事業を新たに実施します。生活情報の提供と合わせて、アンケート等に基づく外国人市民の属性・ニーズ等の情報分析を行います。</p> <p>※生活ガイダンスのコンテンツ：日本語学習情報、就労情報、ごみの分別、防災、地域活動情報、外国人コミュニティ情報、なか国際交流ラウンジ事業紹介 など</p> <p>【概算額】 委託費 ■■■■■ 千円</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
<p>現行の体制で対応</p>	
◇所管局	
所管局課	国際局政策総務課

◆局回答内容

国際局		政策総務課	
担当者名	松本、本田	TEL	671-3826

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 なか国際交流ラウンジの機能強化に係る委託費(生活ガイダンスのコンテンツ作成や情報分析等を行うための費用)を予算計上します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局
------	-----

中区		中土木事務所	
担当者名	竹田	TEL	641-7681
共通区			

継続年数	4年
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項目
12	中土木事務所拡張事業(災害対応拠点)

◇地域の課題、基礎データ等

・土木事務所は道路管理者として、大雨警報や道路陥没のたびに緊急出動し、応急措置を行います。また、大規模災害時には、緊急輸送路の啓開等による通行機能の確保及び、インフラの迅速な復旧において重要な役割を担います。

・とりわけ中区は、県庁や市庁舎といった行政や企業等の中枢機能、港湾からの物流の大動脈、観光資源や商業施設を抱えており、都心部の中枢機能の確保や人命等に関わる被害の回避に向けて迅速な対応が求められます。

・中土木事務所は、敷地・庁舎が狭く、緊急出動時も事務所から離れた資材置き場を経由して現場に向かうため、初動対応に時間がかかるなどの課題がありました。

・平成30年度の資産活用推進会議の了承に基づき、令和2年度水道局からの所管換えを受け隣接地を取得しました。

・当該地に資機材倉庫を整備し、大規模災害の際には協定に基づき、緊急輸送路の確保を行う建設組合中区会との連携を取り合うなど災害対応拠点としての機能強化を図ります。

・また、地域の防災支援として、台風期間には土嚢ステーションを、冬季期間は融雪剤ステーションを中土木事務所の空地を利用して行います。

【敷地データ】

・中土木事務所敷地 1,260㎡ ・取得した土地 892㎡

【参考】

・令和元年度台風15号時の陳情 1日で154件（街路樹や公園での倒木、冠水等）

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
 8 その他（大雨災や大雪災時の陳情及び通報）

◇区民からの具体的な要望

区民からは日頃より、安全・安心な生活ができるよう、道路、公園、下水道といった公共施設の適正な維持管理が求められています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

- ・中区運営方針：目標達成に向けた施策1「安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」
 取組：道路・下水道・公園など、生活の支えとなる施設を安心して利用できるよう努めます。
 ・日常を含め大雨や台風災、大雪災における道路、下水道、公園の維持管理、緊急対応を実施

◇提案内容・概算額等

1. 工事費
 ・中土木事務所拡張に関する工事費 ██████████
2. 土地の売却
 ・小港橋置場 120㎡、約5,200万円 令和3年11月売却
 ・本牧十二天B置場 828㎡、██████████ (概算) 資機材移転後売却予定

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	市民局地域施設課
------	----------

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	日下野、寺林	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 事業の必要性については、認識していますが、予算計上は困難です。 ◇対応する場合の課題

◆局回答内容

こども青少年局		こども家庭課	
担当者名	木寺	TEL	671-2390

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 区における多言語対応の必要性・困難性は認識しています。しかし、区の実情に応じ、特定の言語に対応する人員を区ごとに展開することは現実的ではなく、局として対応するのは困難です。 今後の共生社会における区の窓口での多言語対応のあり方について、児童福祉分野だけでなく、全体的な対応強化の検討が必要と考えます。
	◇対応する場合の課題 財政状況が厳しい中、特定区のみ・特定言語のみの対応は難しいと考えます。